

「えっと来亭」は瀬戸田弁の「えっと来てえ〜ね」に由来して命名しました。名前のとおり、たくさんの方々に集まって頂ける場を目指していますので、気軽に立ち寄ってください。お待ちしております。



えっと来亭のようす

この日はたまたま女子会になってますが、男性の参加も待ってま〜す。



途中で買い出しに行ってお昼は同じお弁当を囲みました



みなさんが集まれる場を提供する為に、新生福社会所有の職員宿舎を開放しました。

地域の方々のご協力

「えっと来亭」開所式を迎えるにあたり、まずは「えっと来亭」の所在地である林地区のみなさんにご理解いただく為に、全戸にチラシ配布しました。チラシ配布や、立ち上げまでの会議への参加、開所式でのおもち作り、道具の調達などご協力して頂いたみなさん本当にありがとうございました。数台なら駐車スペースもありますので、地域にこだわらず、興味がある方はお越しください。



法人内研修

楽生苑では、質の高いサービスを提供させて頂く為には、職員ひとりひとりのレベルアップが必要であると考え、法人内研修に重きを置いております。就業後自主参加で行う研修に多くの職員が参加しています。

- 2月 5日 福祉用具の活用法についての研修
 - 2月 9日 感染対策研修
 - 2月12日 地域公益活動についての研修
 - 2月24日 居宅型介護施設内で生じる人間関係に関する課題
- 2月は、上記の研修を行いました。

右上の写真は、福祉用具の活用法についての研修で介護リフトを体験する様子です。



感染対策研修では、手洗いの研修を行いました。しっかり洗っているようでも汚れが残っている事を再認識し、よりしっかりした手洗いを心がけるようになりました。真ん中の写真がブラックライトをあて、残った汚れを指摘されるようすです。



右下の写真が、地域公益活動についての研修です。「えっと来亭」のオープンを前に、職員が「地域公益活動」を理解する為に研修を行いました。



研修の詳細・最新情報は<http://www.rakusei.or.jp/career.html>に掲載中です。



ひなまつり

3月3日のひなまつりに因んで、各事業所でイベントを行いました。いこいの里Aではお内裏様とお雛様に扮して記念撮影。いこいの里Bでは、入居者自らデコレーションしたケーキを囲んで「うれしいひなまつり」を歌いました。

みのりの里では、職員が二人羽織でメイクアップを披露し利用者みなさんは大爆笑です。昼食はひな人形寿司を食べました。楽生苑の昼食はちらし寿司でした。

さくら餅はひなたの家で手造りしたものです。

勤続10年表彰

1月4日



理事長の年頭訓示の後、5名の職員に勤続10年の表彰状と記念品が手渡されました。

獅子舞

2月2日



ご利益が有りますように

節分・恵方巻

2月3日



みのりの里には鬼も来ました

自分で巻いた恵方巻はおいしい

瀬戸田南京玉すだれの会による演芸訪問



第5回 楽生苑健康福祉まつり

5月15日(日) 9:00~14:00

今年も講演やイベントを予定し準備を進めています。皆様のお越しをお待ちしております。介護・看護・栄養に関する相談窓口もあります。



お詫びと訂正

前号、平成27年11月20日発行の「楽生苑だより」におきまして誤りがありました。正しくは以下の通りです。

表紙右上 (誤) 第29号 (正) 第30号

皆様にご迷惑をおかけしましたことをお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。



編集発行: 社会福祉法人新生福祉会 尾道市瀬戸田町林1288-6 TEL (0845) 27-2943 FAX (0845) 27-2927 http://www.rakusei.or.jp E-mail: info@rakusei.or.jp

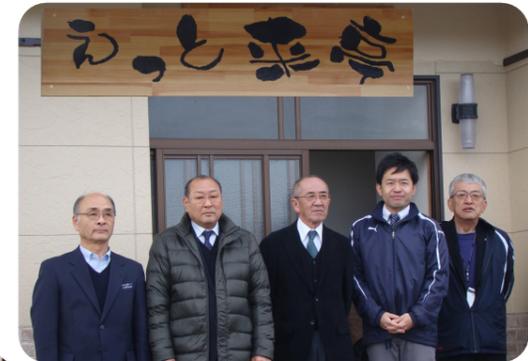
- List of facilities: 特別養護老人ホーム楽生苑, 地域密着型特別養護老人ホーム楽生苑いこいの里, 楽生苑短期入所生活介護事業所, デイサービスセンター楽生苑, 楽生苑居宅介護支援事業所, ケアハウス楽生苑, 特別養護老人ホームクリアル楽生苑, 楽生苑ひなたの家, 楽生苑訪問介護事業所, 小規模多機能ホーム楽生苑みのりの里, 養護老人ホーム寿楽園

真ごころ 思いやり 助けあい 社会福祉法人新生福祉会

楽生苑だより

平成28年 3月20日 第31号

開所式 2/21(日) もちつき・ぜんざい振舞い



約120名の地域の方が参加して下さいました

地域公益活動



えっと楽亭オープン

地域公益活動とは

これからの国が目指す介護は、専門職と地域住民との役割分担を行い、元気な高齢者は地域皆で支え合い見守りながら暮らしていける。そんな地域を目指しています。理由は介護に係る費用の軽減や介護従事者不足等の問題からですが、当法人の持つ施設や職員の知識や技術等を地域住民に活用してもらい、住民が皆で支え合う地域を創成していきたいと考えています。主役は地域住民の皆さんです。我々新生福祉会の職員は、側面から縁の下からサポートいたします。これが我々社会福祉法人新生福祉会の考える「地域公益活動」です。何より必要なのは地域住民の皆様のご理解とご協力です。よろしくお願いいたします。

社会福祉法人新生福祉会 地域公益活動推進委員長 河原大樹